

IIS NEWS

☆ 講演 ☆

- ◇教授 岡宗次郎 助教授 武藤義一 助手 中島徹「定電位電解分離法によるカドミウムと亜鉛の容量分析」日本化学会第8年会 (1955. 4. 1)
- ◇教授 岡宗次郎 助手 和田芳裕「製塩副産物中のカリの迅速定量」同上
- ◇助教授 武藤義一 助手 中島徹「焰光法による硫酸根の容量分析」同上
- ◇教授 岡宗次郎 助教授 武藤義一 助手 和田芳裕「カリの分析法の検討」日本塩学会第6回総会 (1955. 5. 26)
- ◇助教授 武藤義一 教授 岡宗次郎 助手 中島徹「硫酸根の容量分析法の検討」同上
- ◇教授 高橋安人 H. M. Paynter (M I T) 「A new method of evaluating dynamic response of Counter-and parallel flow heat exchangers」ASME, Diamond Jubilee, Boston において (1955. 6. 21)

☆ 寄稿 ☆

- ◇助教授 大島康次郎「テンプ時計の脱進機誤差について (第2報) (第3報)」精密機械, 21巻45頁, 102頁 (1955)
- ◇助教授 大島康次郎「時計ひげぜんまいの非直線性について (第1報)」21巻 254頁, (1955)
- ◇教授 高木 昇 助教授 丹羽 登「超音波厚み計に

よる薬品タンク腐蝕量の測定」化学工学 19, 7, p377 ~380 (1955. 7)

☆ 著 書 ☆

- ◇助教授 武藤義一「比色分析」243頁 共立出版 (1955. 3)
- ◇教授 星 埜 和「土木施工法の中 (基礎工)」45頁 オーム社 (1955. 4. 15)

☆ 人 事 ☆

◇兼重寛九郎 教授 (本所併任) は去る7月16日付総理府技官に併任し, 併せて初代国立航空技術研究所長に任命された。同教授は第2代本所々長として尽すいされ, 現在は日本学術会議副会長として活躍されている方で, 今回の任命はわが国航空技術の立選れを取戻すための適任として大きな期待がかけられている。

☆ 学位取得 ☆

◇石原智男助教授 (第2部) は, 東京大学より工学博士の学位をうけた。 (1955, 5, 27 附)

☆ 海外出張 ☆

◇兼重寛九郎 教授 (本所併任) は8月Oslo で開かれる International Council of Scientific Unions の会議に日本学術会議の代表として出席のため, 去る7月21日SAS機で羽田空港を出発した。往路にエジプト, イタリア, スイス, フランス, イギリスの各大学, 研究機関を視察して Oslo に到着, 帰路はアメリカ経由約2ヶ月の後 帰任の予定である。

IIS NEWS

筆 者 紹 介

- ◇星合正治 本所所長 工博 専攻 電子管工学
- ◇糸川英夫 教授 工博 専攻 音響学・振動機器学・ロケット工学
- ◇永田 武 教授 (理学部) 理博 専攻 地球物理学
- ◇山口文二 技術研究生 専攻 計測記録

- ◇戸田康明 富士精密株式会社研究所次長
- ◇銭 福星 研究生 専攻 応用数学・応用力学
- ◇植村恒義 助教授 専攻 精密機器学
- ◇山本芳孝 技術研究生 専攻 精密機器学
- ◇吉山 巖 技官 応用物理学・振動学・音響学・計測工学
- ◇下村潤二郎 本所事務官

編 集 委 員

- 編集委員長 岡 宗 次 郎
- 編集委員 *森 大 吉 郎
- 末 岡 清 市
- 松 永 正 久

編 集 委 員

- 亘 理 厚
- 高 橋 幸 伯
- 森 脇 義 雄
- 丹 羽 登
- 高 橋 武 雄

編 集 委 員 *武 藤 義 一 編 集 幹 事 下 村 潤 二 郎

- 中 村 康 治 編 集 室 水 野 晴 明
- 三 木 五 三 郎
- *浜 口 隆 一 (* 印 当 番 委 員)
- 星 野 昌 一

本紙の実費頒布をご希望の方は下記へ照会下さい。

千葉市弥生町1
財団法人
生産技術研究奨励会
振替口座東京 108697

第 7 卷 第 8 号 生 産 研 究
1955 年 7 月 25 日 印刷

(本誌は生産技術研究所の研究紹介所として、毎月1回発行する)
1955 年 8 月 1 日 発行

編 集 者 岡 宗 次 郎 印 刷 者 三 美 印 刷 株 式 会 社
東 京 都 千 代 田 区 神 田 多 町 2 0 7
発 行 者 星 合 正 治 発 行 所 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所
千 葉 市 弥 生 町 1
電 話 千 葉 3 6 6 ~ 3 7 0